



ちようふ

CONTENTS(主な内容)

- 10月1日からの市役所の組織変更 3
- 令和4年度学童クラブ入会申し込み 4
- 令和4年度認可保育園の入園申し込み 5
- 特集「10月は食品ロス削減月間」 8・9
- 第66回調布市民文化祭 10

発行：調布市（毎月5日・20日発行）所在地：〒182-8511 東京都調布市小島町 2-35-1 ☎042-481-7111
 編集：行政経営部広報課 市ホームページ：https://www.city.chofu.tokyo.jp/

市報ちようふの配布に関する問い合わせは
 市報ちようふ配布コールセンター
 ☎050-5357-9679へ

問 調布警察署生活安全課 ☎488-0110、総合防災安全課 ☎481-7547



特殊詐欺が、市内で発生しています!

キャッシュカードや現金を手渡しで騙し取る手口に注意

警察官、市役所や金融機関の職員が自宅を訪問し、キャッシュカード、現金、通帳を受け取りに来ることは絶対にありません。



市内では今年※だけで46件、約8933万円の被害が発生しています
※8月末時点

被害に遭わないための注意点

- ☑ 電話でお金のお話をされたら、一旦、電話を切って確認する
- ☑ キャッシュカードや通帳は 誰にも渡さない
- ☑ 暗証番号や預金残高は 誰にも教えない

ひょっとして詐欺かも…不安を感じたら家族や警察に相談

詐欺被害の対策は2面をご覧ください →

手をつなぐ樹 392
 多くの方に支えられて

コロナワクチンに関しては、12歳以上の希望する全市民に対して2回の接種を先月末までに概ね終了しました(註1)。8月に新聞社が実施した調査によると、9月までにほぼ打ち終えると回答した都内基礎自治体は23区中3区(註2)。26市では調布市のみでした。

これほど順調に接種が進んだことについては、医療関係者をはじめとする多くの方のご協力に改めて厚くお礼申し上げます。ただ正直に言えば、今春以降ワクチン配給量など常に不確定要因が多く、最も効率の良い接種体制をどうつくるか対応を模索する日々が続いていました。そして、今振り返れば6月が一つのヤマだったと思われ、同月後半に河野太郎大臣に求めた面会において、調布市に對し、それまでのファイザーに加えて新たにモデルナを8月末までに6万人分供給する予定だとの言葉を直接得ようやく戦略が定まりました。しかし、そのモデルナワクチンの有効活用は、電気通信大学が集団接種会場とするために広い体育館を快く提供下さったことにより初めて可能になったものです。心から感謝いたします。

また、9月18日に味の素スタジアム内にコロナ対応の「酸素・医療提供ステーション」が開設されました。これは、我々の要望(註3)に基づく、今後の感染再燃をも視野に入れた東京都による施設整備です。機能を最大限発揮できるように運営に可能な協力をしていきたいと思っております。

調布市長 友友貴樹

(註1) 9月末時点の推定接種率は、12歳以上の全対象者が約75%。65歳以上の高齢者では約89%。なお、当然ながら10月以降も希望される市民の接種は継続して可能です。(註2) 港区、台東区、墨田区。(註3) 8月26日に、北多摩南部医療圏6市(武蔵野、三鷹、府中、調布、小金井、狛江)の全市長連名で、新型コロナウイルスに對する同医療圏内における臨時医療施設の早期開設に関する要望書を小池知事に提出。同ステーションでは、酸素投与と抗体カクテル療法が実施されます。